

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	開設時より基本理念を玄関先事務室に掲げ周知を図っている。入職時研修では必ず理念研修を行い、計画書にも活かされている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食材、衛生材料を含め近隣の商店を利用。夏祭りや、とんど、地域清掃、防災会、災害訓練にも入居者と一緒に参加している。(コロナ禍では一部地域行事は開催されていない)			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症ケアの具体的な方法、スタッフへの教育なども議題にあげている。会議での意見を参考に提供側の一方的な考え方にならない様役立てサービス向上につなげている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	不明なこと困りごとなどを相談をすることも多く、サービスの向上に結び付くご意見を頂き等、多大なるご協力を頂いている。			対応困難ケースについて関係機関とも協力しながら対応した。

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	薬による弊害を含め、拘束をしないケアについて理解をしている。GHの玄関は車道に面しているため施錠しているがその他は、階段を含め開放している。		<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	身体拘束について意識の高い事業所だと思えます。家族に理解を求め対応している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	内・外研修に参加し知識を深めている。グレーゾーンの存在が虐待に繋がる言う理解のもと見過ごされることがないように注意を払っている。		<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	積極的に研修に参加しており問題ないと思えます。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	研修会に参加し知識を深めている。実際に家族から相談を受けて専門家に相談することも増えている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	十分な理解が得られるように契約前に自宅訪問や利用中のサービスでの様子を見学に行く等している。改定も具体的に金額を示してお知らせしている。			サービス利用開始に際しては十分な説明を行い利用後の疑義などに繋がる機会が減るように努めて下さい。

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者はご家族の面会時に出向くように努めている。最近では様々なコミュニケーションツールを希望されるので、各々に応じている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で減っていた内部研修や会議、申し送りの機会を元に戻し、活発な意見が聞かれる。スタッフの意見にも24時間対応している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	資格取得、認知症介護研修の受講を勧め向上心を持つよう努めている。業務の容量等も含め給与水準を上げている。また、子育て中や高齢スタッフには短時間勤務に応じている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	先手で情報共有されている。良い事業所だと思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な研修機会を設けている。資格取得後は全国大会に参加、或いは発表を行い自己研鑽できるように努めている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修参加がとて多いと感ずる。研修や事例発表等多く参加されている。研修から視察研修までつながったエピソードもあり評価に値するものだと思う。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日本認知症GH協会全国大会、近畿ブロック会、兵庫県支部会などに参加し同業者との交流を深めている。また、そこで出会った同業者からの施設見学なども受けている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	暮らしを共にする者同士として良好な関係が築けるよう会話に重点を置いている。それによりお互いを思いやれる会話が聞かれる。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出が制限される中でも、持ち込んだ携帯電話で家族や知人に電話をする機会を支援。職場の元同僚等と会う機会を支援してきた。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事時間、入浴時間や回数等生活全般に本人の希望に沿った生活ができるように工夫している。希望に応じて携帯電話持ち込みも可能で充電や操作の補助も行う。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	計画作成担当者、介護職員、施設内に勤務する看護師、理学療法士、作業療法士と協力し計画とモニタリングを行う。また、現在はAI/IOTの力もかりて日々のカルテから必要なことを分析した結果も有効活用している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	AI導入は画期的だと思う。先進的な取り組みに参加されている。個々の生活リズムを尊重した計画が実施されている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	紙媒体のカルテでは気づきや変化を記入、また申し送りでは日々の情報を共有している。AIが介護した結果を次に活かす反応をするので情報共有に一役買っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	多職種にて協議・検討し計画がなされている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症の方を支えるには決められたマニュアル通りの対応では難しいことやご家族の状況によっても変化する。様々な要望にできる限り協力する姿勢でいる。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症サポーター養成講座にも入居者と出向くことがあり、地域の方と生き生き話す場面を見えた。地域の清掃除なども一緒に行い穏やかに過ごされている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前からのかかりつけ医を希望される方、グループホームの在宅医に変更される方等希望に応じている。薬局も含めて良好な関係を築いている。看護師は2週間に一度の定期往診に役立つよう看護師記録を医師に提出している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	サマリーを準備し入院先に情報提供を行う。早期退院できるように電話や訪問を行い信頼関係を築いている。骨折、点滴、喀痰吸引等の医療行為はGHでできることを伝えており、退院を早めた実績がある。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	病院との連携がスムーズで安心できる。入退院時の連携は十分達成されている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居相談の段階から終末期の在り方について尋ね、GHでも自然の看取りが可能であることを説明している。終末期には元同僚や友人などの面会支援を行った。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の支援において突然起こりうることを想定した対応が図れている。きちんと説明されている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	GH内には看護師もおり、その対応について学ぶ機会が多い。また、新人職員は消防署が主催する救急講習会に参加して実践を身に付ける努力をしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前の運営推進会議で地域防災会会長が構成員だったこともあり、地域の方と顔見知りになることができGHの様子も知って頂くことができた。度々、防災会に顔を出すことができるようになった。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害時においても地域防災会のネットワークが形成されている。今後も防災会に参加してください。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	勤続年数の長いスタッフが増えお互いに注意し合える土壌がある。介護方法を話し合う機会や申し送りの際には誇りやプライバシーを損ねない対応を優先している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者のペースを大切にして、認知症の様子を観察しながら日常生活を送っている。決められたタイムスケジュールで業務優先しないように注意を払いながら24時間線の介護を行う。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	買い物から調理、盛り付け、テーブル拭きや後片付けまで入居者と一緒に行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	1度で水分摂取することが困難な入居者にも小まめに水分摂取を促す努力を行う。完全側臥位法なども取り入れどうすれば食べれるのか見当を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを行う。認知症があり、嫌がる入居者も多いがうがいをする事等できることを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔内の清潔保持意識は高く二次感染予防も意識されていると思います。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	オムツを使用しない対応を心掛け時間誘導を行っている。また、トイレサインを見逃さないようにしている。昼間はパンツ、夜だけオムツと分けて使用する努力もしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別に応じた対応に取り組まれている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	無理やりは誘導をしないので、朝から夜中まで希望に応じたタイミングで入浴を行う。体調に影響しない方は毎日入浴する方もいる。浴室で演歌をかけて入浴する方にも対応した。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	大まかな日課は決めているが、ご本人の生活習慣を大切にしている。人のいる場所でしか眠れない不安な方にはリビングで眠って頂くこともある。布団の中の温度も眠りやすさを確認している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ薬局に連絡、相談を行い、皆さんの質問にも答えてもらっている。情報交換する中で介護職員は薬に対する知識を深めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ薬局の活用を図りながら支援。副作用等を学ぶ機会を設けている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で不自由な生活をしてきた。しかし、元同僚など入居者と会いたいと連絡があれば家族に聞いてから面談を行うなど支援をした。また、自宅で使用していた本人の嗜好品を取りに行くなど楽しみごとを継続できるように支援。			

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で遠出は難しく一時的には外出できないこともあったが、散歩、近隣での買い物、家族行事、家族の食事会の参加などを支援してきた。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お金を所持している(自己管理)入居者は少ない。しかし、買い物の際には自分の財布からお金を出して買い物する入居者もいる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	携帯電話を所持されている方もいて全般的に支援をしている。手紙を書くことは難しいが、誕生日プレゼントが送られてきた際にはお礼の電話を入れる支援も行う。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共有部分では季節を感じる事が出来るような設えを行っている。認知症のタイプによって、混乱を招くようなカーテンや絵画、写真などは個人のお部屋では取り除くこともある。身体機能に応じた椅子の選択を行っている。小柄で円背の方には自力摂取できるようにテーブルと椅子の位置関係に配慮。車椅子も本人に合うものを選択している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活感や季節感を意識した生活空間となっている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症によって不安にならなくて良いように努め、出来る限り日々の暮らしが穏やかであるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に家族にアンケートや今後、どのご友人と連絡を取り合って過ごすかなどを聞き取っている。入居して間もないころは連絡とり合うこともできているが、認知症が重度になると難しくなる方も多い。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	GHのできる限りの健康面・医療面・安全面・環境面には配慮している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者が重度化しているが、住み慣れた自宅環境を維持するなど努めている。また、仏壇を持ち込みお供えをする方にはその協力を行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	すべて自宅からの持ち込みを支援している。衣類は自由で仏壇、家具、人形等持ち込みをしてもらっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	持ち物支援についても馴染みの者を持つ配慮がなされている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自分で意思表示する方は限られているが、希望に沿って一緒に買い物出かけることなどしている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自分でできることは自分でやってもらうことで機能維持に努めてもらうことができると理解している。掃除や調理、洗濯物たたみなども細かくアセスメントしてできることは手伝ってもらっており、各々の作業にリーダーとなる入居者もいる。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	会話や歌をうたうことなど人の声を身近に感じることで穏やかに過ごせる方が多いので話しかけながら活動場面を持つようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	他者とのかわりを意識した支援に繋がっている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ以前は防災会、防災訓練を、入居者と一緒に参加。公園で地域の子供たちと話をする機会もある。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度な認知症の方にも介護の工夫をして対応しており穏やかに生活できるように努めている。よりよい日々が過ごせるように努力している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者の意識が高くとてもよいグループホームだと思います。日々の暮らしをより意識した取り

							組みをなされている。
--	--	--	--	--	--	--	------------